

省エネ機能

概要・基本設定	2
エコトリガー（パワーセーブトリガー）	2
スケジュールの設定	2
パワーセーブトリガー設定時の動作	4
エコ LED（ポート LED 消灯モード）	4
コマンドリファレンス編	7
機能別コマンド索引	7
CREATE TRIGGER	8
DESTROY TRIGGER	10
DISABLE TRIGGER	11
ENABLE TRIGGER	12
PURGE TRIGGER	14
SET LED MODE	15
SET LED PORT	16
SET TRIGGER	18
SHOW LED	20
SHOW TRIGGER	23

概要・基本設定

本製品では、通常運用時の消費電力を抑える省エネ機能をサポートしています。

省エネ機能には、次の3つの機能があります。

- エコトリガー（パワーセーブトリガー）
- エコLED（ポートLED 消灯モード）
- ポート省電力モード

省電力モードについては「スイッチング」の章をご覧ください。

- ※ 本製品はリアルタイムクロックを内蔵していないため、システムを再起動するたびに時刻をあわせる必要があります。これは、SET TIME コマンド（「運用・管理」の148ページ）を使って手動で行うこともできますが、SNTP サーバーにアクセスできる環境では、SNTP の利用をおすすめします。

エコトリガー（パワーセーブトリガー）

ユーザーがあらかじめ設定したスケジュールに従って、LED の消灯、ポートの機能停止（シャットダウン）を実行できる機能です。

ここでは、コマンドラインインターフェースによる設定方法を中心に説明します。なお、Web GUI では「システム設定」-「トリガー」で設定できます。（詳細は「Web GUI」/「システム設定」をご覧ください。）

スケジュール設定によって実行できる省電力制御（パワーセーブモード）には、以下の種類があります。これらの省電力制御と実施する日時を組み合わせるとトリガーエントリーを作成します。トリガーエントリーの作成によって、指定時刻になると自動的に省電力制御が実施されます。

- ポートLEDの消灯（LEDOFF モード）
指定したポートのポートLEDを消灯させます。
トラフィックは流れますので、LEDによる監視が不要な時間帯に設定すると効果的です。
- ポートのシャットダウン（PORTOFF モード）
指定したポートの電源をダウンさせます。
トラフィックの流れない時間帯や使用していないポートに対して設定すると効果的です。

スケジュールの設定

スケジュールは以下のパラメーターで設定します。

パラメーター	内容
開始日 / 終了日	STARTDATE と ENDDATE パラメーターに西暦年、月、日を指定。ENDDATE を省略すると、STARTDATE で指定した日のみトリガーが有効になる。
毎日	DAYS パラメーターに ALL を指定。
曜日	DAYS パラメーターに曜日 (MON, TUE, WED, THU, FRI, SAT, SUN) を指定。

平日	DAYS パラメーターに WEEKDAY (= MON, TUE, WED, THU, FRI) を指定。
週末	DAYS パラメーターに WEEKEND (= SAT, SUN) を指定。
開始時刻/終了時刻	STARTTIME と ENDTIME パラメーターに時間、分を指定。START-DATE/ENDDATE、DAYS と組み合わせて設定可能。

表 1:

エコトリガーを有効にするには ENABLE TRIGGER コマンド (12 ページ) を設定します。

```
ENABLE TRIGGER ↓
```

エコトリガーを作成するには CREATE TRIGGER コマンド (8 ページ) を設定します。平日 0 時 30 分から 6 時まで全ポートの LED を消灯させるトリガーを作成します。

```
CREATE TRIGGER=1 PSMODE=LEDOFF STARTTIME=00:30 ENDTIME=06:00 DAYS=WEEKDAY
PORT=ALL ↓
```

19 時から 23 時までポートの電源をダウンさせるエコトリガーを作成します。

```
CREATE TRIGGER=2 PSMODE=PORTOFF STARTTIME=19:00 ENDTIME=23:00 PORT=1-5 ↓
```

エコトリガーの設定を変更するには SET TRIGGER コマンド (18 ページ) を設定します。

```
SET TRIGGER=2 PSMODE=PORTOFF STARTTIME=18:00 ENDTIME=23:59 ↓
```

エコトリガーを無効にするには DISABLE TRIGGER コマンド (11 ページ) を設定します。

```
DISABLE TRIGGER ↓
```

エコトリガーを削除するには DESTROY TRIGGER コマンド (10 ページ) を実行します。

```
DESTROY TRIGGER=1 ↓
```

パワーセーブモードを 2 日以上継続させる場合、STARTTIME と ENDTIME の設定は期間中の 1 日ごとに適用されます (開始日の開始時間、終了日の終了時間を設定するものではありません)。

たとえば、「土曜日 0 時から日曜日 23 時 59 分まで」という設定をするには、

```
STARTTIME=00:00 ENDTIME=23:59 DAYS=WEEKEND ↓
```

を指定しますが、STARTTIME と ENDTIME の指定は土曜日と日曜日それぞれに対して適用されます。つまり、以下の設定をしたのと同じことになります。

土曜日の 00:00 ~ 23:59

日曜日の 00:00 ~ 23:59

このような設定をした場合、LEDOFF/PORTOFF モードの場合は、土曜日の 23:59 にいったんパワーセーブモードが解除され、日曜日の 00:00 に再びパワーセーブモードになります。

- ✧ PORTOFF モードを設定する際に、不用意に PORT=ALL が指定されると、期間中はいずれのポートからも Telnet や SNMP によるリモート接続ができなくなりますので、ご注意ください。

＼ 正確な時刻でエコトリガーを動作させるため、SNTP との併用を推奨します。

パワーセーブトリガー設定時の動作

パワーセーブトリガーを設定した際の動作を説明します。

トリガー有効期間中に再起動した場合

パワーセーブモード	動作
ポート LED の消灯 (LEDOFF モード)	消灯のまま。ただし、ポート LED モードが消灯モードのとき。
ポートのシャットダウン (PORTOFF モード)	シャットダウンしたまま。

表 2:

トリガーの開始時刻を過ぎてから本製品を起動した場合の動作

パワーセーブモード	動作
ポート LED の消灯 (LEDOFF モード)	消灯する。ただし、ポート LED モードが消灯モードのとき。
ポートのシャットダウン (PORTOFF モード)	シャットダウンする。

表 3:

トリガー有効期間中にパワーセーブモードを解除する方法

パワーセーブモード	動作
ポート LED の消灯 (LEDOFF モード)	エントリーを無効に設定するか、エントリーを削除する。本体前面の MODE LED 表示切替ボタンを押し、ポート LED モードを消灯モード以外のモード (COL、SPD、FULL、ACT のいずれか) に変更する。
ポートのシャットダウン (PORTOFF モード)	エントリーを無効に設定するか、エントリーを削除する。

表 4:

エコ LED (ポート LED 消灯モード)

ポート LED (LINK LED と MODE LED) を点灯させないようにする機能です。ポートごとに LED 点灯/消灯を設定したり、ポートの受信レートが設定値を下回った場合のみ LED を消灯させたりといった設定も可能です。

ポート LED の消灯方法には以下の種類があります。どの方法でも、まずはじめに SET LED MODE コマンド (15 ページ) でポート LED のモードを消灯モードにする必要があります。

ここでは、コマンドラインインターフェースによる設定方法を中心に説明します。なお、Web GUI では「シ

システム設定」-「ポート LED」で設定できます。（詳細は「Web GUI」/「システム設定」をご覧ください。）

指定したポートのみで LINK LED を有効にする	PORT=X ACTION=ON の設定で、ポート X のポート LED 消灯モードを無効にし、LINK LED を点灯/点滅させることができます（ポートごとに LED の点灯（点滅）/消灯が設定可能）。
受信レートが設定値を下回った場合に消灯させる	PORT=X ACTION=OFF RATE=100 の設定で、ポート X の受信レートが 100Kbps を下回ったときのみ LED を消灯させることができます。
パワーセーブトリガーのスケジューリングに従って消灯させる	PORT=X ACTION=ON の設定をしておくことによって、パワーセーブトリガーによる LEDOFF モードの設定が有効になり、指定期間のみポート LED を消灯させることができます。

表 5:

※ 消灯モードは、SET LED MODE コマンド（15 ページ）の実行のほか、本体前面の MODE LED 表示切替ボタンを押しても設定可能です。なお、コマンドによる設定の後に切替ボタンで設定した場合、メモリー上の設定内容は変更されませんが、切替ボタンによる設定で動作します。

※ SET LED PORT コマンド（16 ページ）で ACTION=ON の指定で点灯（点滅）するのは、ポート LED のうち LINK LED のみです。MODE LED は点灯しません。

ポート LED を消灯させるには SET LED MODE コマンド（15 ページ）を使います。

```
SET LED MODE=OFF ↵
```

ポート 1 ～ 8 のみを LED 点灯、それ以外のポートを LED 消灯にする場合は、SET LED PORT コマンド（16 ページ）で次のように設定します。

```
SET LED MODE=OFF ↵
```

```
SET LED PORT=1-8 action=ON ↵
```

ポート 1 ～ 8 で受信レートが 100Kbps を下回ったときに LED 消灯とする場合は、SET LED PORT コマンド（16 ページ）で次のように設定します。

```
SET LED MODE=OFF ↵
```

```
SET LED PORT=1-8 RATE=100 ↵
```

ポート LED の設定情報を確認するには、SHOW LED コマンド（20 ページ）を使います。

```
SHOW LED ↵
```

コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

概要・基本設定

CREATE TRIGGER	8
DESTROY TRIGGER	10
DISABLE TRIGGER	11
ENABLE TRIGGER	12
PURGE TRIGGER	14
SET LED MODE	15
SET LED PORT	16
SET TRIGGER	18
SHOW LED	20
SHOW TRIGGER	23

CREATE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

```
CREATE TRIGGER=trigger-id PSMODE={LEDOFF|PORTOFF} STARTTIME=time
[ENDTIME=time] [STARTDATE=date] [ENDDATE=date] [DAYS=day-list]
PORT={port-list|ALL} [NAME=string] [STATE={ENABLED|DISABLED}] [TEST={YES|
NO|ON|OFF}]
```

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

time: 時刻。hh:mm の形式。hh は時 (0~23) mm は分 (0~59)

date: 日付。yyyy-mm-dd の形式。yyyy は西暦年、mm は月 (1~12) dd は日 (1~31)

day-list: 曜日リスト (MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT、SUN、WEEKDAY、WEEKEND、ALL の組み合わせ。複数指定時はカンマで区切る)

port-list: スイッチポート番号 (1~)。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

string: トリガー名。1~40 文字。空白を含む場合はダブルクォートで囲む。

解説

エコトリガーエントリーを作成する。10 個まで作成可能。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号 (1~10)

PSMODE パワーセーブのモード。1 つのエントリーに対して複数のモードを指定することはできない。
PORTOFF (ポートの機能を停止する) LEDOFF (ポート LED を消灯する) のいずれかを指定する。

STARTTIME トリガーの開始時刻を指定する。

ENDTIME トリガーの終了時刻を指定する。ENDTIME に STARTTIME より前の時間を指定した場合、翌日扱いとなる。ENDTIME を指定しない場合、トリガー起動後は翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。DAYS に ALL 以外が指定されている場合、または ENDDATE が指定されている場合は、ENDTIME の指定が必須。

STARTDATE トリガーが有効な期間の開始日を指定する。DAYS と同時には指定できない。ENDDATE より後の日付は指定できない。ENDDATE の指定を省略した場合は、STARTDATE で指定した日のみトリガーが有効になる。ただし、ENDDATE と ENDTIME 両方の指定を省略すると、トリガーは起動したまま翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。指定できる範囲は 1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで。

ENDDATE トリガーが終了する日を指定する。DAYS と同時には指定できない。STARTDATE を指定していない場合は指定できない。STARTDATE より前の日付は指定できない。指定できる範囲は 1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで

DAYS 一週間のうちトリガーを有効にする曜日を指定する。カンマ区切りで複数曜日を指定可能。WEEKDAY は MON,TUE,WED,THU,FRI と同義。また、WEEKEND は SAT,SUN と同義。ALL はすべての曜日。デフォルトは ALL。STARTDATE、ENDDATE と同時には指定できない。

PORT PSMODE が PORTOFF、LEDOFF の場合対象となるポートを指定する。ポート番号、ALL (すべて)

てのポート)のいずれかを指定する。モードが PORTOFF の場合に不用意に ALL が指定されると、期間内はリモートから TELNET 接続しようとしたとき、どのポートからも接続できなくなるので注意。

NAME トリガー名。SHOW TRIGGER コマンドで表示されるもので、メモとして使う。

STATE トリガーの有効・無効。省略時のデフォルト値は ENABLED。

TEST トリガーをテストモードにするかどうか。テストモードのトリガーは起動されても実行せず、ログにトリガーの起動を記録するだけ。デフォルトは NO。

入力・出力・画面例

```
Manager > create trigger=1 psmode=portoff starttime=23:00 endtime=6:00 port=1-5

Operation successful.
```

例

毎日夜 23 時にポートの機能を停止して、翌朝 6 時に通常モードに戻る定時トリガー「1」を作成する

```
CREATE TRIGGER=1 PSMODE=PORTOFF STARTTIME=23:00 ENDTIME=6:00 PORT=1-5
```

備考・注意事項

PORTOFF モードを設定する際に、不用意に PORT=ALL が指定されると、期間中はいずれのポートからも Telnet や SNMP によるリモート接続ができなくなる。

本製品はリアルタイムクロックを内蔵していないため、トリガー機能を現在の正確な時刻で動作させたい場合、SNTP 機能を有効にする必要がある。

関連コマンド

DESTROY TRIGGER (10 ページ)

DISABLE TRIGGER (11 ページ)

ENABLE TRIGGER (12 ページ)

PURGE TRIGGER (14 ページ)

SET TRIGGER (18 ページ)

SHOW TRIGGER (23 ページ)

DESTROY TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

DESTROY TRIGGER=trigger-id

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

エコトリガーエントリを削除する。

パラメーター

TRIGGER 指定したトリガー番号のトリガーを削除する。

入力・出力・画面例

```
Manager > destroy trigger=10  
  
Operation successful.
```

例

トリガー番号 10 のエコトリガーを削除する

DESTROY TRIGGER=10

関連コマンド

CREATE TRIGGER (8 ページ)
DISABLE TRIGGER (11 ページ)
ENABLE TRIGGER (12 ページ)
PURGE TRIGGER (14 ページ)
SET TRIGGER (18 ページ)
SHOW TRIGGER (23 ページ)

DISABLE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

DISABLE TRIGGER [=trigger-id]

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

トリガー機能を無効にする。あるいは、指定したトリガーを一時的に無効にする。
デフォルトでは、トリガー機能は無効。作成直後のトリガーは、STATE=DISABLED を指定しない限り有効。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号。省略時はトリガー機能全体が無効になる。

入力・出力・画面例

```
Manager > disable trigger=10

Operation successful.
```

例

トリガー機能を無効にする

DISABLE TRIGGER

関連コマンド

CREATE TRIGGER (8 ページ)
DESTROY TRIGGER (10 ページ)
ENABLE TRIGGER (12 ページ)
PURGE TRIGGER (14 ページ)
SET TRIGGER (18 ページ)
SHOW TRIGGER (23 ページ)

ENABLE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

ENABLE TRIGGER [=trigger-id]

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

トリガー機能を有効にする。あるいは、指定したトリガーを一時的に有効にする。
デフォルトでは、トリガー機能は無効。作成直後のトリガーは、STATE=DISABLED を指定しない限り有効。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号。省略時はトリガー機能全体が有効になる。

入力・出力・画面例

```
Manager > enable trigger=10

Operation successful.
```

例

トリガー機能を有効にする

ENABLE TRIGGER

備考・注意事項

本製品はリアルタイムクロックを内蔵していないため、トリガー機能を現在の正確な時刻で動作させたい場合、SNTP 機能を有効にする必要がある。

関連コマンド

CREATE TRIGGER (8 ページ)
DESTROY TRIGGER (10 ページ)
DISABLE TRIGGER (11 ページ)
PURGE TRIGGER (14 ページ)
SET TRIGGER (18 ページ)

SHOW TRIGGER (23 ページ)

PURGE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

PURGE TRIGGER

解説

トリガー機能の設定をすべて消去する。
作成したトリガーはすべて削除され、トリガー機能は無効になる。

入力・出力・画面例

```
Manager > purge trigger  
  
Operation successful.
```

関連コマンド

CREATE TRIGGER (8 ページ)
DESTROY TRIGGER (10 ページ)
DISABLE TRIGGER (11 ページ)
ENABLE TRIGGER (12 ページ)
SET TRIGGER (18 ページ)
SHOW TRIGGER (23 ページ)

SET LED MODE

カテゴリー：省エネ機能

SET LED MODE={ACTIVITY|SPEED|DUPLEX|COLLISION|OFF}

解説

ポート LED モードの設定を行う。

パラメーター

MODE ポート LED モードを設定する。デフォルトは ACTIVITY。本コマンド設定後、本体前面の MODE LED 表示切替ボタンが押された場合、コンフィグはそのままとなるが、切替ボタンの設定が優先される。ACTIVITY (MODE LED でパケットの送受信を表示)、SPEED (MODE LED で通信速度を表示)、DUPLEX (MODE LED でデュプレックスモードを表示)、COLLISION (MODE LED でコリジョンを表示)、OFF (消灯モード) から選択する。OFF に設定した場合、SYSTEM LED と POWER LED は消灯しない。

入力・出力・画面例

```
Manager > set led mode=off

Operation successful.
```

関連コマンド

SET LED PORT (16 ページ)

SHOW LED (20 ページ)

SET LED PORT

カテゴリー：省エネ機能

SET LED PORT={*port-list*|**ALL**} [ACTION={ON|OFF}] [RATE={1..1024000|NONE}]

port-list: スイッチポート番号 (1～。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

解説

ポート LED モードが消灯モードのときの動作を設定する。

パラメーター

PORT 対象となるスイッチポート番号または ALL。ALL を指定した場合はすべてのスイッチポートが対象となる。

ACTION 該当ポートの LED 点灯/消灯設定。ON を指定するとポート LED が点灯 (ポート LED 消灯モード無効) になり、OFF を指定するとポート LED が消灯 (ポート LED 消灯モード有効) になる。デフォルトは OFF。本パラメーターはポート LED モードが OFF の場合のみ有効。ON の指定で点灯 (点滅) するのは、ポート LED の LINK LED のみ (SFP スロットの場合は L/A LED)。MODE LED は点灯しない

RATE 該当ポートの受信レートしきい値を Kbps (Kilobits per second) で指定する。該当ポートの受信レートがしきい値を下回ったときはポート LED が消灯し、上回ったときはポート LED が点灯する。NONE を指定した場合は、しきい値設定はなしとなる (ポート LED 消灯)。デフォルトは NONE。本パラメーターはポート LED モードが OFF の場合のみ有効。ACTION パラメーターが ON の場合、本パラメーターの設定はできない。また、ACTION パラメーターに ON が設定されると、本パラメーターの設定は NONE に戻る。

入力・出力・画面例

```
Manager > set led port=1 action=OFF rate=1

Operation successful.
```

例

ポート 1 の受信レートが 1Kbps 未満のとき、ポート LED を消灯させる

SET LED PORT=1 ACTION=OFF RATE=1

関連コマンド

SET LED MODE (15 ページ)

SHOW LED (20 ページ)

SET TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

```
SET TRIGGER=trigger-id [PSMODE={LEDOFF|PORTOFF}] [STARTTIME=time]
[ENDTIME[=time]] [STARTDATE=date] [ENDDATE[=date]] [DAYS=day-list]
[PORT={port-list|ALL}] [NAME=string] [STATE={ENABLED|DISABLED}]
[TEST={YES|NO|ON|OFF}]
```

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

time: 時刻。hh:mm の形式。hh は時 (0~23) mm は分 (0~59)

date: 日付。yyyy-mm-dd の形式。yyyy は西暦年、mm は月 (1~12) dd は日 (1~31)

day-list: 曜日リスト (MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT、SUN、WEEKDAY、WEEKEND、ALL の組み合わせ。複数指定時はカンマで区切る)

port-list: スイッチポート番号 (1~)。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

string: トリガー名。1~40 文字。空白を含む場合はダブルクォートで囲む。

解説

エコトリガーの設定パラメーターを変更する。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号 (1~10)

PSMODE パワーセーブのモード。1 つのエントリーに対して複数のモードを指定することはできない。
PORTOFF (ポートの機能を停止する) LEDOFF (ポート LED を消灯する) のいずれかを指定する。

STARTTIME トリガーの開始時刻を指定する。

ENDTIME トリガーの終了時刻を指定する。ENDTIME に STARTTIME より前の時間を指定した場合、翌日扱いとなる。ENDTIME を指定しない場合、トリガー起動後は翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。DAYS に ALL 以外が指定されている場合、または ENDDATE が指定されている場合は、ENDTIME の指定が必須。

STARTDATE トリガーが有効な期間の開始日を指定する。DAYS と同時には指定できない。ENDDATE より後の日付は指定できない。ENDDATE の指定を省略した場合は、STARTDATE で指定した日のみトリガーが有効になる。ただし、ENDDATE と ENDTIME 両方の指定を省略すると、トリガーは起動したまま翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。指定できる範囲は 1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで。

ENDDATE トリガーが終了する日を指定する。DAYS と同時には指定できない。STARTDATE を指定していない場合は指定できない。STARTDATE より前の日付は指定できない。指定できる範囲は 1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで

DAYS 一週間のうちトリガーを有効にする曜日を指定する。カンマ区切りで複数曜日を指定可能。WEEKDAY は MON,TUE,WED,THU,FRI と同義。また、WEEKEND は SAT,SUN と同義。ALL はすべての曜日。デフォルトは ALL。STARTDATE、ENDDATE と同時には指定できない。

PORT トリガーの対象となるポートを指定する。ポート番号、ALL (すべてのポート) のいずれかを指定

する。モードが PORTOFF の場合に不用意に ALL が指定されると、期間内はリモートから TELNET 接続しようとしたとき、どのポートからも接続できなくなるので注意。

NAME トリガー名。SHOW TRIGGER コマンドで表示されるもので、メモとして使う。

STATE トリガーの有効・無効。省略時のデフォルト値は ENABLED。

TEST トリガーをテストモードにするかどうか。テストモードのトリガーは起動されても実行せず、ログにトリガーの起動を記録するだけ。デフォルトは NO。

入力・出力・画面例

```
Manager > set trigger=1 psmode=portoff starttime=23:00 endtime=6:00

Operation successful.
```

例

毎日夜 23 時にポートの機能を停止して、翌朝 6 時に通常モードに戻る定時トリガー「1」を設定する

```
SET TRIGGER=1 PSMODE=PORTOFF STARTTIME=23:00 ENDTIME=6:00
```

備考・注意事項

PORTOFF モードを設定する際に、不用意に PORT=ALL が指定されると、期間中はいずれのポートからも Telnet や SNMP によるリモート接続ができなくなる。

本製品はリアルタイムクロックを内蔵していないため、トリガー機能を現在の正確な時刻で動作させたい場合、SNTP 機能を有効にする必要がある。

関連コマンド

CREATE TRIGGER (8 ページ)

DESTROY TRIGGER (10 ページ)

DISABLE TRIGGER (11 ページ)

ENABLE TRIGGER (12 ページ)

PURGE TRIGGER (14 ページ)

SHOW TRIGGER (23 ページ)

SHOW LED

カテゴリー：省エネ機能

SHOW LED

解説

ポート LED 情報を表示する。

入力・出力・画面例

```
Manager > show led
```

```
LED Information
```

```
-----
```

```
Configured LED Mode ..... ACTIVITY LED
```

```
Actual LED Mode ..... ACTIVITY LED
```

```
Port   Action  Threshold  RxRate  Link  PowerSave  LEDState
```

```
-----
```

1	Off	-	-	Up	No	On
2	Off	-	-	Down	No	Off
3	Off	-	-	Down	No	Off
4	Off	-	-	Down	No	Off
5	Off	-	-	Down	No	Off
6	Off	-	-	Down	No	Off
7	Off	-	-	Down	No	Off
8	Off	-	-	Down	No	Off
9	Off	-	-	Down	No	Off
10	Off	-	-	Down	No	Off
11	Off	-	-	Down	No	Off
12	Off	-	-	Down	No	Off
13	Off	-	-	Down	No	Off
14	Off	-	-	Down	No	Off
15	Off	-	-	Down	No	Off
16	Off	-	-	Down	No	Off
17	Off	-	-	Down	No	Off
18	Off	-	-	Down	No	Off
19	Off	-	-	Down	No	Off
20	Off	-	-	Down	No	Off
21	Off	-	-	Down	No	Off
22	Off	-	-	Down	No	Off
23	Off	-	-	Down	No	Off
24	Off	-	-	Down	No	Off
25	Off	-	-	Down	No	Off
26	Off	-	-	Down	No	Off
27	Off	-	-	Down	No	Off

28	Off	-	-	Down	No	Off
29	Off	-	-	Down	No	Off
30	Off	-	-	Down	No	Off
31	Off	-	-	Down	No	Off
32	Off	-	-	Down	No	Off
33	Off	-	-	Down	No	Off
34	Off	-	-	Down	No	Off
35	Off	-	-	Down	No	Off
36	Off	-	-	Down	No	Off
37	Off	-	-	Down	No	Off
38	Off	-	-	Down	No	Off
39	Off	-	-	Down	No	Off
40	Off	-	-	Down	No	Off
41	Off	-	-	Down	No	Off
42	Off	-	-	Down	No	Off
43	Off	-	-	Down	No	Off
44	Off	-	-	Down	No	Off
45	Off	-	-	Down	No	Off
46	Off	-	-	Down	No	Off
47	Off	-	-	Down	No	Off
48	Off	-	-	Down	No	Off
49	Off	-	-	Down	No	Off
50	Off	-	-	Down	No	Off
51	Off	-	-	Down	No	Off
52	Off	-	-	Down	No	Off

Configured LED Mode	LED モードの設定値。SPEED LED、DUPLEX LED、ACTIVITY LED、COLLISION LED、LED Off のいずれか。
Actual LED Mode	実際の LED モード。SPEED LED、DUPLEX LED、ACTIVITY LED、COLLISION LED、LED Off のいずれか。
Port	ポート番号。
Action	ポート LED の消灯/点灯の設定値。On または Off。
Threshold	受信レートのしきい値。単位は Kbps (Kilobits per second)。
RxRate	該当ポートの現在の受信レート。単位は Kbps(Kilobits per second)。
Link	該当ポートのリンクの状態。Up または Down。
PowerSave	パワーセーブ機能による、LED 制御実行状態。Yes は、パワーセーブにより LED 消灯実行中、No は、LED 消灯制御未実行
LEDState	ポート LED の消灯/点灯状態。On または Off。

表 6:

例

ポート LED 情報を表示する

SHOW LED

関連コマンド

SET LED MODE (15 ページ)

SET LED PORT (16 ページ)

SHOW TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

SHOW TRIGGER [=trigger-id] [{FULL|STATUS|SUMMARY}]

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

トリガーおよびトリガーモジュールに関する情報を表示する。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号 (1~10)。省略時はすべてのトリガーに関するサマリー情報が表示される。

FULL トリガーに関する詳細な情報が表示される。

STATUS トリガー機能の状態に関する情報が表示される。トリガー番号は指定できない。

SUMMARY すべてのトリガーに関するサマリー情報が表示される。

入力・出力・画面例

```
Manager > show trigger
```

TR#	Type & Details	Name	En	Te	Rept	#Scr	Days/Date
001	PS-PORTOFF(23:00- 6:00)		Y	N	Yes	00	2011/5/16-2011/5/31
002	PS-LEDOFF(18:00- 0:00)		Y	N	Yes	00	MTWTFSS

```
Manager > show trigger=2 full
```

```

Trigger ..... 2
Name ..... -
Type and details ..... PS-LEDOFF(18:00- 0:00)
Days ..... Daily
Start Time ..... 18:00
End Time ..... 00:00
Port ..... 1,3,5-10
Enabled ..... Enabled
Test ..... No
Repeat ..... Yes
Created/Modified ..... 2011-05-11 16:16:02
Number of Activations .. 0
Last Activation ..... ****-***-** **:**:**
Number of scripts ..... 0

```

```

Manager > show trigger status

Trigger Module Configuration
-----

General
Trigger Module ..... Enabled
Triggers configured ..... 2

Power Save Triggers
Configured ..... 2
Active ..... 2
Activated today ..... 0

```

TR#	トリガー番号
Type & Details	トリガーの種類とその他の情報
Name	トリガー名（メモ）
En	有効かどうか
Te	テストモードかどうか
Rept	複数回実行の可否。Yes（可）のみ。
#Scr	常に 00
Days/Date	トリガーが有効な曜日または日時。有効な曜日が頭文字（MTWTFSS）で表される。無効な曜日は「-」で示される。

表 7:

Trigger	トリガー番号
Name	トリガー名（メモ）
Type and details	トリガーの種類とその他の情報
Days	トリガーが有効な曜日。Weekdays（月～金）、Weekends（土日）、Daily（毎日）あるいは各曜日が表示される。Days と Date はどちらか一方のみ表示される。
Date	トリガーが有効な日付。Days と Date はどちらか一方のみ表示される。
Start Time	トリガーの開始時間。
End Time	トリガーの終了時間。
Port	トリガーの対象ポート。
Enabled	トリガーの有効・無効。
Test	テストモードかどうか。
Repeat	複数回実行の可否。Yes（可）のみ。
Created/Modified	作成日時あるいは最終修正日時
Number of Activations	トリガーが起動された回数（前回の再起動後）
Last Activation	最終起動日時（手動起動は含めない）

Number of scripts	0
-------------------	---

表 8: FULL オプション指定時

General セクション	トリガー機能全般に関する情報
Trigger Module	トリガー機能の有効・無効
Triggers configured	トリガー数
Power Save Triggers セクション	パワーセーブトリガーに関する情報
Configured	トリガー数
Active	現在有効なトリガー数
Activated today	今日実行された回数

表 9: STATUS オプション指定時

関連コマンド

[CREATE TRIGGER \(8 ページ \)](#)
[DESTROY TRIGGER \(10 ページ \)](#)
[DISABLE TRIGGER \(11 ページ \)](#)
[ENABLE TRIGGER \(12 ページ \)](#)
[PURGE TRIGGER \(14 ページ \)](#)
[SET TRIGGER \(18 ページ \)](#)